

“世界一の朝食”を提供するカジュアルダイニング「bills」の日本第1号店がリニューアル。
白を基調にした店内にカラフルなインテリアが点在し、
全席から七里ヶ浜の絶景を見渡せる、より解放感溢れるお店へ。

「bills」七里ヶ浜 2015.3.20 (fri) Renewal Open!



Photographed by Tetsuya Miura

この度、オーストラリアのレストランター ビル・グレンジャーが手掛ける“世界一の朝食”を提供するレストラン「bills」は、2008年に海外進出第1号店としてオープンした「bills」七里ヶ浜を、2015年3月20日（金）よりリニューアルオープンいたしました。

今回のリニューアルのコンセプトは「beach-house dining room」。

東京の都会の喧騒から1時間ほど移動するだけで、自然に溢れ、ゆったりとした時間が流れる七里ヶ浜は、ビル・グレンジャーにとって、ホームであるオーストラリア・シドニーのボンダイを連想させる場所です。「bills」七里ヶ浜は、趣の異なる2つのスペースで、大きく広がる海と空を見ながらリラックスした時間と食事をお楽しみ頂けるのが特徴となっております。そしてこの度、「ラウンジ」から「BAR」へとリニューアルされたスペースは、どの席からも七里ヶ浜の海を見渡すことができる、より解放感に溢れた心地よい空間へと生まれ変わりました。

昨年、シドニーの新店としてオープンした「bills」jin Bondi Beachのエッセンスを取り入れた店内には、白を基調としたシンプルな内装デザインに、まるで植物のように店内を支える大きな緑色の柱や、真っ白でクリーンなテーブル、店内を映し出す大きなミラーなど、個々で存在感のあるインテリアたちが店内に色を添えます。

また、リニューアルに伴い、椅子は全てビル・グレンジャーが自宅でも愛用している木製のものを取り揃え、ソファもビル・グレンジャーがセレクトしたBondi Beachと同じダークオリーブ色の本革製のバンケットチェアを設置しました。さらに、店内の席数は以前の34席から62席、テラス席も全スペースで16席から20席へと増席し、より多くの方にbillsで特別なひとときをお過ごし頂けるようになっております。他にも、カウンターには、国内で初めてとなるドーム型のガラススタンドに色とりどりの焼き菓子をディスプレイし、全てビル・グレンジャーお気に入りの旬なスイーツを並べています。

内装デザイン、インテリア、メニューなど全てにおいて、ビル・グレンジャーのルーツや“今”のこだわりを表現した空間となっており、全世界で愛される「bills」の要素が散りばめられています。新しく生まれ変わった「bills」七里ヶ浜に、是非ご期待ください。

「bills」は、1993年に、オーストラリア シドニー郊外のダーリングハーストに1号店をオープンしました。ビルの作り出す料理は、独創性を持ちながら新鮮な素材を活かしたシンプルさが特徴。彼の名を一躍有名にした「オーガニック ス克蘭ブルエッグ」は、海外有名紙で“世界一の卵料理”と評されたほどです。

シドニー、日本、ロンドンに加え、2014年3月には初のアメリカ進出となる「bills」jin Waikikiをハワイ・ワイキキに、2014年10月には日本以外のアジア初進出となる「bills」jin Seoulを、韓国・ソウル市蚕室にオープン。

店舗概要

リニューアルオープン日	: 2015年3月20日(金)
正式名称	: 「bills」七里ヶ浜
住 所	: 神奈川県鎌倉市七里ガ浜1-1-1 WEEKEND HOUSE ALLEY 2F
TEL	: 0467-39-2244
営業時間	: 月曜日/ 7:00-17:00 (L.O.food 16:00、drinks 16:30) 火曜日～日曜日/ 7:00-21:00 (L.O.food20:00、drinks 20:30) ※営業時間・メニューは予告なく変更されることがございますので、予めご了承ください。
席 数	: 122 席 (BAR 62 席、KITCHIN 40席、テラス 20席)
敷地面積	: 76.13坪
駐車場	: 施設内 Times 24 ※台数: 31台
喫煙	: 全席禁煙
ペット	: テラスのみOK(1組様1匹まで)
URL	: http://www.bills-jp.net/

「bills」七里ヶ浜

七里ヶ浜の海を望むロケーションに建つbills日本1号店。

ビル・グレンジャーのホームであるオーストラリア・シドニーのボンダイを連想させる七里ヶ浜。

デザイン性に富んだインテリアでありながら落ち着いた雰囲気のあるBAR/KITCHINという、趣の異なる2つのスペースで、大きく広がる海と空を見ながらゆっくり流れる時間と食事をお楽しみいただけます。



Photographed by Tetsuya Miura